



地域の史料たち5

三木の染め型紙 そ か た が み 再発見!

会期 令和3年 11月6日[土]～令和4年 1月16日[日]

型紙 太鼓持ち(部分)／型紙 鯨小紋(背景) 19世紀頃 ギャラリー湯の山みち所蔵

三木市立 みき歴史資料館

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4番5号

TEL.0794-82-5060

アクセス：神戸電鉄粟生線三木上の丸駅 徒歩5分

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館
無料

休館日 11月8日(月)、15日(月)、22日(月)、24日(水)、29日(月)
12月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)～31日(金)
1月1日(土)～4日(火)、11日(火)

主催 三木市立みき歴史資料館・三木市総務部市史編さん室



地域の史料たち5

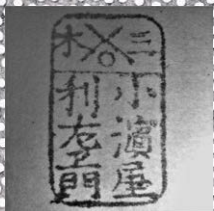
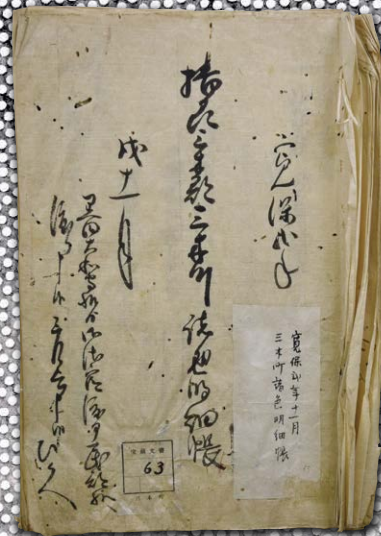
三木の染め型紙

再発見!

会期 令和3年11月6日[土]~令和4年1月16日[日]



型紙 蝶 19世紀頃
ギヤラリー湯の山みち所蔵



型紙に押された商印 19世紀頃
(左)「三木・小濱屋利左門」
(右)「播州三木・形屋五郎太夫」

「三木町諸色明細帳控」(三木市有宝蔵文書)寛保2年(1742)三木町での型屋(形屋)の軒数が記録されている。

染め型紙は、19世紀頃、日本からヨーロッパへ大量に輸出され、デザインの参考資料として使われていました。「型紙がヨーロッパのデザインにあたえた影響力は、浮世絵より大きい」とも言われています。

江戸時代、藍染めの道具である型紙は三木町の名産品でした。時はたち、昭和のおわりまで地域からすっかり忘れられていた型紙を、三木の人々が再発見し、資料として収集・保存してきました。

本企画展では、19世紀頃の型紙と、三木との関係を表す近世以降の史料を展示します。展示でご紹介する江戸時代後期～明治時代初期につくられた型紙のデザインは、現代の私たちが抱く「昔ながらの和のデザイン」というイメージではカバーしきれないほどの豊かさや多様さに満ちています。

近年、型紙の展覧会が国内外で開催されており、型紙を紹介した本が刊行されています。現在進行形で、世界的な規模で型紙が再発見されていく過程において、本展示がひとつの場となれば幸いです。

企画展関連イベント

企画展特別講演会 「染色型紙にみるデザインの世界」

日 時: 令和3年11月14日(日)13:30~15:00
講 師: 加茂 瑞穂 氏
(武庫川女子大学附属総合ミュージアム研究員)
会 場: みき歴史資料館 3階 講座室
定 員: 先着40名(無料、要電話・窓口申込)

会期中の主なイベント

歴史ウォーク④ 「ホースランド周辺付城跡コース」

日 時: 令和3年11月27日(土)9:00~12:00
コ ー ス: 道の駅みき(出発)⇒明石道峯構付城跡⇒シクノ谷峯構付城跡
⇒高木大山付城跡⇒高木大塚城跡⇒道の駅みき(解散)
集 合: 道の駅みき
定 員: 先着15名(無料、要電話・窓口申込)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、イベントの予定を変更する場合があります。